



行脚の一徳・存命の喜び

図書館長 黄色 瑞華

8月のはじめ「中日韓言語・文化研究国際学術共同シンポジウム 2011」参加のため西安へ行ってきた。西安(古くは長安)行は少年のころからの夢だった。

年齢のゆえをもって、前回に続き代表団の団長に充てられてのことだった。心労は覚悟の上だったが、後期高齢者の身にとっては、肉体的疲労甚だしく、帰国後の数日間点滴を受けることにもなった。

最終日には史跡踏査が組まれていた。長安の文化が日本文化の形成に与えた影響ははかり知れず、しかも、時間は遠く、空間は広大。中国側が選んでくれた市の中心部に近い数か所を急ぎ足で巡ることが精いっぱいというのが実状だった。

出立前、まず私の心にかかったのは草堂寺探訪だった。唐代の半ば、国師として迎えられた鳩摩羅什(クマラジュ)が仏典の漢訳に従事した所である。師はインド人を父に庫車(クチャ)国に生まれた人。3000余とも4000余巻とも伝えられる仏典の漢訳を成就したと言われ、この事業を助けた学僧の数は3000にも及んだと言う。日本仏教の形成に大きな影響を与えた阿弥陀経・法華経・般若経などの漢訳はいずれもここで成ったのだった。

明・清代に再建されたという諸堂は終南山の諸峰を望む幽遠な空気の下にあって、その学恩をしのぶのに欠けるところはなかった。

三蔵法師や弘法大師ゆかりの史跡、楊貴妃の華清宮など、今は観光資源としてのみ保護されている。そんな中で、確かな姿を保持し続ける二つの博物館を訪れることが出来た。秦始皇兵馬俑博物館と碑林博物館である。兵馬俑については日本でも広く知られているところだが、碑林についてはあまり知られていないように思う。

碑林は1087年の創建。1000点を超える碑(いしぶみ)が集められていて、中に玄宗の儒書注解(65万字)、朱子の注釈などがあつた。これ以上の原典保存方法はなかろう。また、顔真卿(ガンシンケイ)・王羲之(オウギシ)などの墨跡にもふれることが出来た。碑林における感動は、この稿をすすめる間にも体内によみがえり、手先のふるえを覚える。

芭蕉は『おくのほそ道』の旅で、壺碑(ツポノイシブミ)を訪れ、「爰に至りて疑なき千歳の記念(かたみ)、今眼前に古人の心を閲す。行脚の一徳、存命の喜び、羈旅の労をわすれて 泪も落るばかり也。」と記している。

11月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

図書館開館時間

□ 9:00 ~ 19:00

■ 9:00 ~ 17:00

■ 休館です

当分の間、図書館は短縮開館となります



11月3日(木) 9時30分より図書館エントランス前でリサイクル市を開催します。
図書館に寄贈された本や使わなくなった本・雑誌を無料で配布いたしますのでぜひお立ち寄りください。

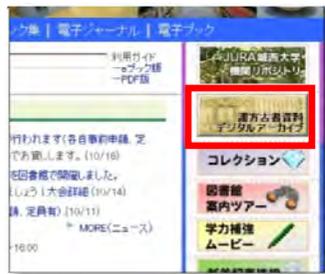
漢方古書資料デジタルアーカイブが公開されました

本学所蔵の漢方古書資料をデジタルアーカイブとして公開しました。

現代は新しいものばかりを追いかけがちですが、先人の血の滲むような努力なくして科学の進展はありませんでした。時代の先端部分だけでなく、時には立ち止まって先人の努力の跡を振り返ることで、新しい発想や反省が生まれるかも知れません。

古い資料は傷みやすく、非公開のものも多いため、これらの貴重な資料を直接手に取れる機会は多くはありません。本館では、多くの方に実際に見て考えていただきたいと願って、今後もデジタル化の作業を進めていきます。

利用方法

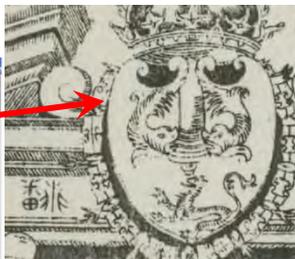


漢方古書アーカイブの入口は図書館ホームページ右側のサイドバーです。

収録内容

解体新書序図、傷寒明理論、貝原養生訓、傷寒論弁正、水産図解、西医略論、日用薬品考、済生三方、温疫論、麻疹中食シテ宜品、朝鮮名方牛肉丸、他くすり広告などを閲覧できます。

解体新書序図



ズーム機能で拡大すると挿図の細かな筆致もよくわかります。

名前を知っている図書でも、拡大してみると新しい発見があるかもしれません。

解体新書序図ではおなじみの扉絵もしっかり見られます。

水産図解



淡水・海水魚や貝類、海藻類などを挿絵つきで解説している水産図解には食卓で見かける魚も多数収録されています。

上段は挿絵と品種名、下段が生態や特徴などの解説になっており、「キタコという魚は九州産のものが特に美味」などと書かれています。キタコは現在では「ウツボ」と呼ばれている魚で、当時の名前などがわかる、面白い文献です。

ほかにも……

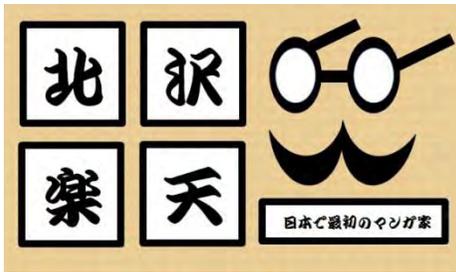


要注意の食べ合わせ表なんていうものもあります。何の資料に載っているかは探してみましょう。

過去の資料は時代の変遷を映す鏡でもあります。

学習のためだけでなく、歴史を知るといった知的な探求の面白さをぜひ感じとってください。

11月の図書館展示コーナー「近代漫画の先駆者・北沢楽天」



皆さんは、北沢楽天という人物をご存知でしょうか。彼は、手塚治虫や藤子不二雄らに先駆け、日本初の職業漫画家となった人物です。明治9年に生まれた北沢楽天は、洋画・日本画を学んだ後、横浜でオーストラリア人漫画家・ナンキベルに師事し漫画を学びました。その後、福沢諭吉に認められ入社した時事新報社で、彼は数多くの社会風刺漫画を発表します。それらの作品は高い評価を受け、現在では「近代漫画の祖」と呼ばれる存在になっています。

今回、図書館では特別に彼が遺した素晴らしい漫画作品を展示致します。是非、この機会に“日本で最初の漫画作品”をご覧ください。

Ask me! ~今月の調べもの~

Q 「学力低下」の題で論文を書くための資料として、「学力調査」のデータがほしい。

A 学力調査は文部科学省が実施しており、最近のデータは、文部科学省のサイト (<http://www.mext.go.jp/>) で公開されています。

一方、過去分の多くはデータ化されていないので、関連機関のサイトやウェブ上の学術論文、年鑑・白書類、同じ主題の雑誌記事などを探してみます。年鑑では1階資料室の『日本教育年鑑』(館内閲覧のみ、コピー可)、雑誌では積層書庫3階にある『文部時報』(貸出期間1週間)が参考になります。国際的な調査ではOECD生徒の学習到達度調査(PISA)があり、1階資料室には『生きるための知識と技能』、開架図書3階には『新しい学力テストを読み解く』などの資料があります。

POINT

ウェブ検索は便利ですが、過信は禁物。冊子(図書、雑誌記事など)にあたるクセもつけましょう。

ライブラリアン お勧め図書

『読書について：他二篇』

ショウペンハウエル著 岩波書店(岩波文庫)
1階文庫本コーナー：134.6//Sc6 他

19世紀ドイツの哲学者が、読書の効用と限界、そして自ら思索することの重要性を説いた小品。哲学書特有の難解な言い回しは少ないため、初心者も安心して読み進められます。

19世紀の著作ですが、扱われる問題は驚くほど新鮮で、我々の身に迫るものとなっています。毎年何万という図書が出版・消費されていく現在、そしてテレビやインターネットにより、暴力的な情報洪水に日々曝される時代に生きる我々にこそ、他者の考えに引き摺られるのではない、自らの力で考え、知を見出すことの意義を見直す必要があるのではないのでしょうか。

図書のごぼこ

<図書館活用講座>

積層書庫

シラバスルームを通り抜け、奥の扉を入った場所が積層書庫です。城西大学の総蔵書量42万冊のうち、18万冊もの蔵書を擁するこの場所は、雑誌のバックナンバーや洋書を保存する目的で設置されています。シラバスルーム続きの3階には、自然科学系洋雑誌のバックナンバーが並んでいます。前年に受け入れた雑誌をハードカバーの形に製本して配架しています。

最近では冊子から電子ジャーナルに切り替わる雑誌が多くなっていますが、黒い背表紙に金文字のタイトルが入った製本がずらりと並んだ書架は圧巻です。ぜひ一度覗いてみてください。またM4階には新聞の縮刷版もあり、朝日新聞縮刷版は明治期の復刻版を含めた1888年から、日本経済新聞縮刷版は1966年から保存されています。自分の生まれた日の新聞を探してみるのも楽しいと思います。



ビブリアバトル 2011

予選会

10月14日(金)、ビブリアバトル首都決戦大会への出場者を決める「ビブリアバトル首都決戦 2011・予選会 in 城西」を図書館で開催しました。ビブリアバトルとは発表者が持ち寄ったお気に入りの本を、スライドやレジュメ無しで5分のプレゼンテーションを行い、その本の魅力を伝えるというもの。勝敗は発表者、観客全員で「読みたくなった本」を投票して決定します。

前回の「ビブリアバトルin紀伊國屋大学生大会」に宮嶋君が本学代表として出場し、大健闘しました。(その際のコメントは2011年9、10月合併号に掲載。図書館ホームページからオンラインで閲覧できます)

今回の予選では学内から4名のエントリーがありました



邊見 俊介さん
経済学部2年
『方舟さくら丸』
安部公房・著



櫻田 浩章さん
経営学部3年
『ロス：タイム：ライフ』
小林雄次・著/寛昌也・原案



宮嶋 迅さん
現代政策学部3年
『銀河鉄道の夜』
宮澤賢治・著



田中 裕大さん
現代政策学部2年
『まじめの崩壊』
和田秀樹・著

予選会では観客注視のなか各人が持ち味を活かした熱弁をふるい、持ち時間5分を戦い抜きました。そのあとで行われた投票の結果、得票多数で宮嶋さんが首都決戦本戦への切符を手に入れました。

首都決戦本戦は10月30日(日)にベルサール秋葉原で行われました。

結果については図書館ホームページで公表していますので、ぜひご覧ください。

図書館彙報

- 9月28日 本学所蔵の漢方古書資料をデジタルアーカイブとして公開しました。
- 10月 『大学の図書館』第30巻第9号[2011.9]に、スタッフ執筆の『第20回大図研オープンカレッジ城西大学水田記念図書館のTwitter活用事例』が掲載されました。
- 10月1・2日 鶴ヶ島市第24回図書館まつり 北沢楽天の時事漫画と漢方古書資料を展示しました。
- 10月20日 2011年図書館国際セミナー(早稲田大学)に出席しました。
- 10月27日 長らくご不便をおかけしましたが、図書館外壁の補修工事が終了しました。
- 10月27日 平成23年度第2回図書館選書委員会を開催しました。
- 10月27・28日 私立大学図書館協会東地区部会研究部研修会(専修大学)に参加しました。
- 10月28日 平成23年度第2回図書館運営委員会を開催しました。
- 10月28日 坂戸市立図書館協議会に出席しました。
- 10月30日 ビブリアバトル首都決戦2011(ベルサール秋葉原)に、現代政策学部3年生の宮嶋迅さんが挑みました。
- 11月3日 図書館で無料リサイクル市を開催します。